

# STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2013推進ニュース

「社会保障・税一体改革」阻止・介護保障制度の抜本改善を!!

-今年も介護の"Big Wave"をおこそう!-



## 厚労省へ「介護保険制度の改善を求める緊急要請署名」

**132402筆** を提出しました

7/30 (火)

署名の要請項目ひとつひとつに対して、厚労省から回答がありました。

### 1. 「保険料、利用料などの費用負担を軽減すること」

→保険料は所得の低い方に配慮する必要はある。利用者負担は介護保険を使っている人と使っていない人がいるので公平感を出すようにしたい。負担可能な水準になっていると思う。

### 2. 「生活援助の見直しを撤回し、利用者が安心して生活できるよう内容を拡充すること」

→見直し後も「アセスメントをしっかりとって、ニーズに応じた時間でサービス提供する」よう周知徹底している。

### 3. 「国の責任で、施設の人員配置基準の引き上げや抜本的な処遇改善を実施すること」

→国で決めているのは最低基準の配置なので、事業所ごとに職員配置を手厚くすることは可能。人員配置基準を引き上げてしまうと小規模事業所が成り立たなくなってしまう。

### 4. 「利用者負担の2割化、軽度者の切り捨て等の検討をやめること」

→一定以上の所得がある方は、応分の負担をいただく。必要なサービスの抑制にならないように配慮すべきという意見もある。

利用者を地域包括ケアと一体で支えていく。地域の受け皿の整備については、幅広い議論が必要。いちばんは支援を受けている方が困らないように検討していきたい。

| 県連      | 集約合計   |
|---------|--------|
| 北海道     | 10425  |
| 青森      | 1620   |
| 岩手      | 799    |
| 宮城      | 788    |
| 秋田      | 1072   |
| 山形      | 5067   |
| 福島      | 2404   |
| 茨城      | 1576   |
| 栃木      | 0      |
| 群馬      | 48     |
| 埼玉      | 4291   |
| 千葉      | 396    |
| 東京      | 6835   |
| 神奈川     | 5118   |
| 新潟      | 1397   |
| 山梨      | 2697   |
| 長野      | 5295   |
| 富山      | 0      |
| 石川      | 710    |
| 福井      | 1710   |
| 岐阜      | 3703   |
| 静岡      | 1228   |
| 愛知      | 1322   |
| 三重      | 1041   |
| 滋賀      | 973    |
| 京都      | 2527   |
| 大阪      | 7794   |
| 兵庫      | 1005   |
| 奈良      | 1859   |
| 和歌山     | 0      |
| 鳥取      | 0      |
| 島根      | 1467   |
| 岡山      | 8496   |
| 広島      | 1860   |
| 山口      | 0      |
| 徳島      | 2040   |
| 香川      | 1464   |
| 愛媛      | 898    |
| 高知      | 367    |
| 福岡・佐賀   | 4762   |
| 長崎      | 1573   |
| 熊本      | 1226   |
| 大分      | 0      |
| 宮崎      | 1222   |
| 鹿児島     | 1732   |
| 沖縄      | 2007   |
| 中央社保協など | 29588  |
| 合計      | 132402 |

### < 回答に対して参加者から >

- 専門職のヘルパーや介護福祉士がかかわることで、認知症の対策ができています。ボランティアにはできないことを専門家がやっている。
  - そもそも過疎の村では、ボランティアをするマンパワーがない。総合事業に出すお金もない。厚労省が自治体のフォローをしてほしい。
  - 人員配置に対して「加算をつける」と言うが、今の介護の処遇自体が低いため、職員のなり手が少ない。事業自体が成り立たない、今すぐに改善しなければならないままのなしの問題。
- などの現場の切実な思いを 53 名で伝えました。

秋から、政府の改悪案に対する「介護保険制度改悪は許さない! (仮称)」の署名を準備しています。まだ、お手元にある署名は至急、全日本事務局へお送り下さい。



お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：諏佐・山平  
 ☎ 03-5842-6451 / fax 03-5842-6460  
 /E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp



## 午後は「学習院内集会」79名

午後は衆議院会館に移動して、『学習院内集会』を行いました。79名の参加でした。

**国会議員の田村智子さん**（日本共産党）がかけつけ、「政府は「施設から在宅へ」と言うが、それが出来ない人はどうしたらいいのか？と町で言われた。介護は現役世代の問題であると痛感している。介護事業は様々な制度が本当に利用者にとってよいものなのか、実証されないままに次の制度へと進んでいく。**介護を真剣に考えている人たちの具体的な意見が制度を考え直す力になる**」とあいさつをいただきました。



**認知症と家族の会の勝田登志子さん**からは、現在委員となっている介護保険部会の動向について報告をいただきました。「**介護保険部会では利用者の立場で発言する委員はほとんどいない。発言しても、違った趣旨で議事録にまとめられてしまう。**利用者のことを考えた発言をする人たちも会議の圧力の中で、意見がふらついてしまうこともある。介護をよくしたいというみなさんの意見に重なる人がいたら、介護保険部会でもがんばれるようにおもしろい応援してあげてほしい。要支援切りが話題にあがっているが、**認知症になって1~1.5年が本人も家族も1番つらい。ここにケアの手が入らないのは大問題**」

**民医連の林常駐理事**の「次期介護制度をめぐる動向」学習会では、「利用できない介護保

険、利用させない介護保険」ということで、制度施行後14年で利用者・家族、事業所がどんどんたいへんな状況になっている実態が報告されました。また、「**介護の自己責任化**」、「**介護の営利化・市場化**」で、**今後は150万人もいる要支援者の切り捨て、施設の重点化と称した「軽度者の締め出し」、一定所得者以上の利用料の引き上げ（年収320万円以上）、ケアプランの有料化、捕捉給付の見直し（世帯分離している配偶者の所得の徹底的な探し出しや、亡くなったあとも遺産から徴収するなど）が提案されていること、2014年の通常国会で改悪法案の提案が予定されている**ことが話されました。

介護をボランティアに移行することは、私たち介護職の専門性、職能を否定するものです。介護の専門家だからこそ、高齢者や障がいのある方たちをこれ以上悪化させない、そして、生活を守れていることをたくさんの人に伝えていきましょう。

### <フロアからの発言>

【京都ヘルパー連絡会・浦野さん】専門性を発揮していけば、その人の人生も変えていける。ヘルパーの言葉で訴えていけるように、小さなしゃべり場などのネットワークづくりを進めている。

【愛知社保協・小松さん】一斉 FAX で各団体に署名の依頼をしたら、たくさん返ってきた。自治体キャラバン行動を開始するために9月から学習に取り組む。

【全労連・根本さん】介護職場がブラック企業化しているところもある。国の責任を追及して、大波をつくっていききたい。

【医労連・米沢さん】自分たちの仕事のやりがい・意義を学ぶことが大切。ひとりで働くヘルパーはいまの介護の状況がおかしいと思っても誰かと話す機会がないため、声が大きくなっていかない。人と人とのつながりが分断されている。組織化していかないといけない。

【福井民医連の看護師さん】「介護体験したことありますか？」と厚労省の人に言いたい。現場では職員が日々疲れきっていて、やりたい介護ができなくなっている。看護職場よりもひどく感じる。

【福島民医連の鈴木さん】震災関連死が1400人で、半数が福島の人。長引く仮設住宅暮らしで、介護認定者も大幅に増えている。介護職も離職が多い。主に20~30代の女性。たいへんな状況。



お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」 事務局：諏佐・山平  
☎ 03-5842-6451 / fax 03-5842-6460  
/E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp